

TDK Today

Vol.55

2014年4月1日 ▶
2015年3月31日

特集

産業機器・エネルギー 分野でのTDKの ソリューション



**Industrial
Equipment / Energy
& TDK**



株主の皆様へ

過去最高の売上高を達成。
中期経営計画の推進のもと、重点5事業と新規事業への注力により、企業価値のさらなる拡大を目指します。



代表取締役社長

上 釜 健 夫

2015年3月期の業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2015年3月31日に終了しました2015年3月期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の連結業績についてご報告申し上げます。

当期における主要なエレクトロニクス製品の市場を概観しますと、スマートフォンの生産は中国市場における需要拡大や大手メーカーから新型端末が発売されたこと等により前期の水準を大幅に上回りました。

また、自動車の生産は、米国での堅調な販売に支えられ、前期に比べ増加しました。さらに、ハードディスクドライブ(HDD)の生産は、パソコン及びゲーム機の需要増やデータセンタ市場が徐々に拡大してきたことに伴い、前期とほぼ同水準で推移しました。このような市場の好調さを受け、当社の業績は3期連続の増収増益となり、売上高は過去最高を記録しました。

2015年3月期 連結業績概要

売上高	1兆826億円 (前期比 10.0%増)
営業利益	725億円 (同 98.1%増)
当期純利益	494億円 (同 203.1%増)

<2015年3月期決算のポイント>

■売上高は1兆円を突破、過去最高の10,826億円

自動車市場向けや中国・北米スマホ向け販売が好調で、受動部品、フィルム応用製品事業で売上が過去最高。

■営業利益は前年より98.1%増の725億円

主要3事業においてバランスの取れた収益構造が定着。当期純利益は494億円と前年比3倍。

■旺盛な需要に対応した積極的な設備投資を先行

投資を先行させながらキャッシュフローを改善し、7期ぶりにネットキャッシュポジション*を達成。

*実質的な手元資金がプラスの状態。

● 受動部品事業

売上高 5,412億円 (前期比 14.7%増)

営業利益 379億円 (同 146.1%増)

- ・セラミックコンデンサは、自動車市場向け販売が堅調に推移し、前期比で増収増益でした。生産性の改善効果により利益率も改善しました。
- ・インダクティブデバイスは、北米及び中国スマホ需要を中心としたICT市場や、自動車市場向けの販売の増加及び品種構成の良化により、前期比で増収増益でした。
- ・高周波部品は、北米及び中国スマホ需要を中心としたICT市場向けの販売の増加及び生産性の改善等により、前期比で増収増益でした。
- ・圧電材料部品は、自動車市場向け部品やカメラモジュール用VCMの販売の増加により、前期比で増収増益でした。

(注)VCM: 高速オートフォーカスアクチュエータ

● 磁気応用製品事業

売上高 3,692億円 (前期比 1.3%増)

営業利益 287億円 (同 2.1%増)

- ・記録デバイスは、HDDヘッドの出荷数量が前期より減少しましたが、サスペンションの販売が伸び増収でした。生産性の改善効果やデータセンタ向け販売が伸び始めたことによる品種構成の良化により前年比で増益でした。
- ・マグネットは、自動車及びICT市場向けの販売が減少しました。第3四半期(3Q)に金属磁石関連設備の減損を実施しました。
- ・電源は、半導体製造装置、FA機器等の産業機器市場向けの販売が堅調に推移し増収でした。3Qにのれん減損を実施しました。

● フィルム応用製品事業

売上高 1,513億円 (前期比 17.0%増)

営業利益 246億円 (同 83.6%増)

エナジーデバイス(二次電池)は、主要顧客の新型スマートフォン向けの販売や、中国市場を中心とした顧客層の拡大により、前期比で増収増益でした。

2016年3月期の取り組みについて

次の通り、重点5事業を中心に積極的な事業展開を図ります。

<重点5事業の推進>

●インダクティブデバイス (受動部品)

ICT、車載市場向け薄膜製品、積層製品のシェアの拡大。

●高周波部品 (受動部品)

LTE市場拡大による小型・高特性ディスクリット製品の販売の拡大とモジュール製品のシェアの拡大。

(注) LTE: Long Term Evolutionの略で次世代高速携帯通信規格、ディスクリット製品: 単一機能部品、モジュール製品: いくつかの機能部品を一つにまとめた製品

●圧電材料部品 (受動部品)

OISビジネスの拡大(中国向けスマホへの搭載率が増加)。

(注) OIS: 手振れ補正アクチュエータ

●HDDヘッド (磁気応用製品)

パソコン需要減少によるHDD市場縮小の一方、データセンタ向け製品の拡大継続、製品ミックスを改善。

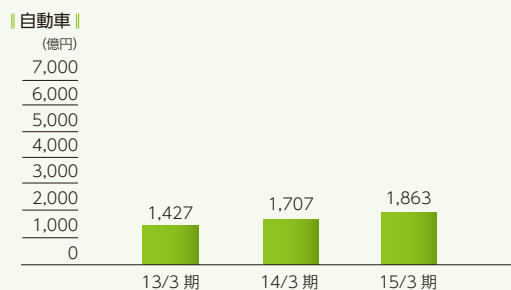
●二次電池 (フィルム応用製品)

モバイル機器薄型化によるポリマー電池の需要の拡大継続。顧客層の拡大。

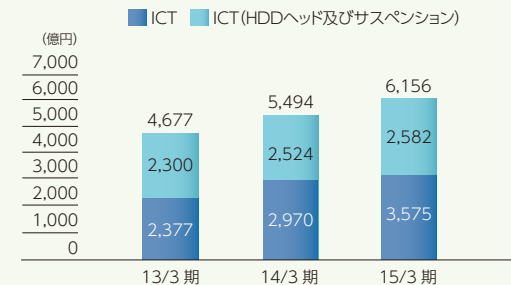
今年の4月からは、3か年の中期経営計画がスタートしました。また、今年の12月に当社は創立80周年を迎えます。これを機に、「創造によって文化、産業に貢献する」(社是)という創業の精神に立ち返るとともに、成長のために挑戦し続ける風土の醸成に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 上釜 健宏

【重点分野別売上の推移】



ICT及びICT(HDDヘッド及びサスペンション)

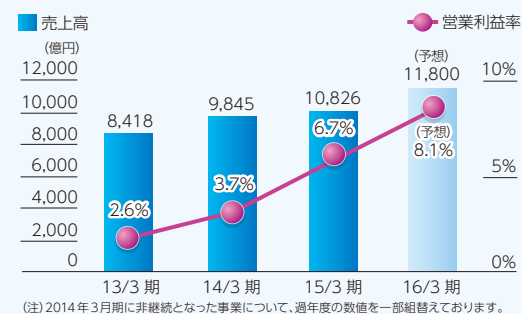


産業機器及びその他

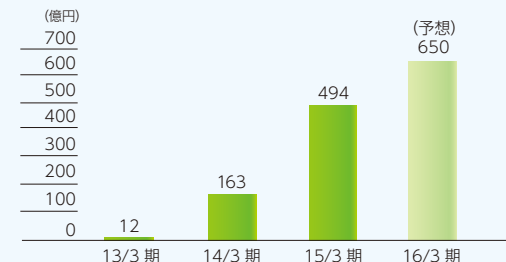


【主要財務指標等の推移】

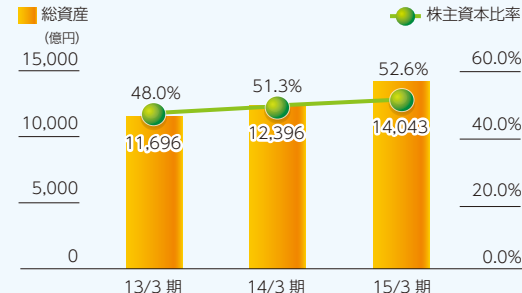
売上高及び営業利益率



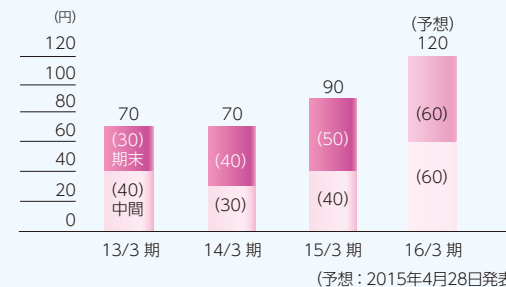
当期純利益



総資産及び株主資本比率



1株当たり配当金



<2016年3月期 連結業績予想及び配当金見通し>

米国経済や新興国が牽引する形で、緩やかな回復が見込まれ、エレクトロニクス市場においては、引き続き電子部品需要の堅調な伸びが期待できます。このような事業環境の中、当社は売上の過去最高の更新と4期連続の増収増益を目指します。2016年3月期における連結業績予想及び一株当たり配当金見通しは以下の通りです。

売上高	1兆1,800億円 (当期比 9.0%増)
営業利益	950億円 (同 31.0%増)
当期純利益	650億円 (同 31.6%増)

※平均為替レートは対米ドル115円、対ユーロ130円を想定。(2015年4月28日時点)

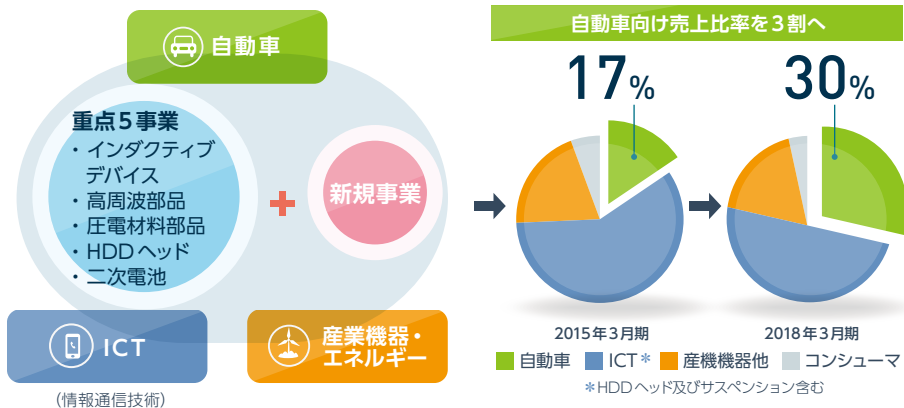
中間配当	60円 (当期 40円)
期末配当	60円 (同 50円)
年間配当	120円 (同 90円)

中期経営計画が始動!

当社グループは持続的な成長による企業価値のさらなる拡大を目指し、2016年3月期を初年度とする中期経営計画を策定、この4月からスタートいたしました。その概要は以下の通りです。

重点5事業+新規事業に注力

- ・成長が期待される重点3市場（自動車、ICT、産業機器・エネルギー）、この市場に柱事業として位置付けた重点5事業の成長戦略を推進します。
- ・重点5事業に加え、新規事業にも注力します。
- ・重点3市場では、自動車向け売上比率を現状の17%から30%へ拡大を目指します。



モノづくり改革

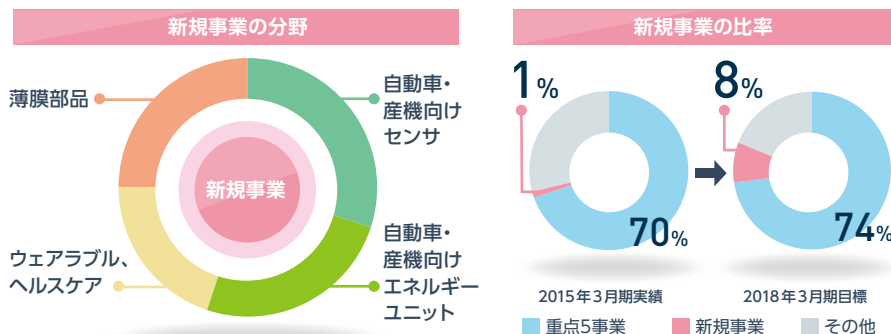
- ・ITの力でモノづくりの姿を劇的に変えるであろう「インダストリ4.0」と、不良品ゼロを目指す「ゼロディフェクトの追求」の2つを柱としたモノづくり改革を、秋田新工場（2016年生産開始予定）で展開します。
- ・全世界の拠点に展開し、どこの国で生産しても同じ品質の製品ができる「ロケーションフリー」の確立を目指します。



*インダストリ4.0:工場の生産の内部情報と営業・物流などの外部情報をインターネットで結び、次世代のモノづくり・価値づくりを目指したドイツ政府が推進するプロジェクト。

成長分野における新規事業の展開

- ・新規事業に向けては、当社がHDDヘッドで蓄積してきた薄膜技術の資産を最大限に活かしていきます。
- ・薄膜部品、自動車・産機向けセンサ、自動車・産機向けエネルギーユニット、ウェアラブルとヘルスケアといった、今後大きく成長が見込まれる分野で展開します。
- ・2018年3月期で売上高1,000億円、売上高比率8%を目指します。



中期経営目標

成長投資	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品、新規事業への投資、M&Aや、既存事業の生産能力の増強を実施します。 ・今後3年間に設備投資で3,500~4,000億円、研究開発投資で約2,300億円を計画しています。
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ・EPS(一株当たり利益)の成長を通じ安定的な配当の増加を目指します。 ・配当性向30%を目標とします。

これらにより、営業利益率・ROEともに10%以上の達成を目指します。

	2015年3月期実績	2018年3月期目標
営業利益率	6.7%	10%以上
ROE	7.2%	10%以上

TOPICS

東京工業大学と先端的な共同研究開発を推進

TDKは東京工業大学と、2015年1月に磁性・磁石技術をベースとした先端的な共同研究を含む組織的連携協定を締結しました。1930年に東京工業大学の加藤与五郎博士と武井武博士の研究から生まれた電子材料フェライト。その事業化を目指して1935年に、大学発ベンチャー企業として創立されたのがTDKです。フェライトはあらゆる電気・電子機器の進化に影響を及ぼし、現在はスマートフォンや電気自動車などの重要パーツとして使われ、広く社会に貢献しています。このような歴史的偉業を称えて2009年、TDKと東京工業大学は、「フェライトの発明とその工業化」について、世界最大の電気・電子技術者学会IEEEより「IEEEマイルストーン」に認定されました。



「IEEEマイルストーン」の銘板



世界初のフェライトコア

今回の連携によりTDKは磁性・磁石技術における技術革新の新たな可能性を追求し、次世代のエレクトロニクス及び日本の競争力向上につながる独自性の高い開発に挑んでまいります。

トムソン・ロイター 「Top 100グローバル・イノベーター」を 3年連続で受賞

企業や専門家向けに高度な情報を提供する世界的なリーディングカンパニー、トムソン・ロイター(本社:ニューヨーク)が、世界で最も革新的な企業・機関100社を選ぶ「Top 100グローバル・イノベーター2014」を選出・表彰しました。この賞は、同社が保有する特許データをもとに知財・特許動向を分析し、世界規模で優れた発明を推進している企業や研究機関を選出するものです。選考の際の評価基準としては、「特許数」「成功率」「グローバル性」「引用における特許の影響力」の4つとなっています。



(左)トムソン・ロイター取締役 棚橋 佳子様
(右)当社代表取締役社長 上釜 健宏

TDKは3年連続でこの賞に選出され、今回は、この4つの選考基準のうち特に「引用における特許の影響力」及び「成功率」で高い評価をいただきました。TDKでは研究開発とともに知財戦略を競争力の源泉と位置づけ、今後もさらに推進させていく考えです。

社会貢献活動紹介

「2014冬休みエレクトロニクス体験教室」を開催

TDK歴史館主催で、2015年1月6日から10日にかけて、秋田県にかほ市及び秋田市で「2014冬休みエレクトロニクス体験教室」を計5回開催しました。これは子供たちに「モノづくりに興味を持ち、面白さや楽しさを知って学んでもらうこと」を目的に、2007年から秋田県内外の小中学生を対象に実施しているイベントです。今回を含めて累計1,973名の児童・生徒が参加しました。今回のテーマは「LEDピカタワーをつくり、電子科学の不思議を体験しよう!」です。昨年末ノーベル物理学賞

を受賞して話題を集めた青色LEDにちなみ、LEDについて学習しようというものです。「LEDピカタワー」は、27個の青・赤・黄・緑4色のLEDとマイコンなどの電子部品で構成された3Dイルミネーションキット。色違いのLEDがプログラムに従って縦、横、斜めに点滅します。参加者は、タワーを完成させ、光の三原色である赤・青・緑の3色を重ねると白になることを確認するなど、電子科学の不思議を体験しました。参加した子どもたちからは「LEDのすごさと動きがわかった」「難しい工作で苦戦したけれど、LEDが大変きれいだった」という感想がありました。TDK歴史館では、この体験教室を通じて一人でも多くの子どもたちにモノづくりの楽しさを知ってもらい、理科への関心を深めてもらうことを願って、今後、夏休みの教室も開催する予定です。

特集 産業機器・エネルギー分野でのTDKのソリューション

電力用の1次エネルギーは約3分の1しか生かされない!

発電用に投入される1次エネルギー (100%とする)

熱エネルギー
化石燃料を使った火力発電や地熱発電など

運動エネルギー
風力発電など

化学エネルギー
乾電池など

光エネルギー
太陽光発電など

位置エネルギー
水力発電など



100%

電気エネルギー(2次エネルギー)への転換

創り出された電気エネルギー

約39%

利用時

最終消費エネルギー

約33%

発電ロス+送配電ロス=熱などになって消失

そこで省エネ・ソリュ

さらに電源や機器内部で発熱ロスなどが発生

電気エネルギーがリードしてきたエレクトロニクス社会

石油、天然ガスなどの化石燃料、水力、風力、太陽光などの自然エネルギーから直接得られるエネルギーを**1次エネルギー**と言い、これらを加工・変換して創り出される電気、ガソリン、ガスなどのエネルギーを**2次エネルギー**と呼びます。この2次エネルギーの中でも、現在社会を支えているエネルギーの主役は**電気エネルギー**です。

電車やロボットなどに組み込まれたモータを回したり、LED掲示板や照明灯を点けたり、またコンピュータの電子回路を動かしたり、電気エネルギーは使い勝手にすぐれ、最も高品質なエネルギーといわれます。だからこそ今日のエレクトロニクス社会も生まれました。

ところが!

電力用1次エネルギーの約3分の2がロスとして消失。省エネ・省ロスへの努力が求められています。

電気を創る、送る、変換する、使う・蓄える、それぞれの段階でロス(損失)が発生し、熱などとなって消失します。そのロスは電力用1次エネルギーの何と約3分の2、つまり最終的には約3分の1しか残らないのです。風力、太陽光などの再生可能エネルギーを最大限に生かすためにも、こうしたロスをいかに減らすかが求められています。

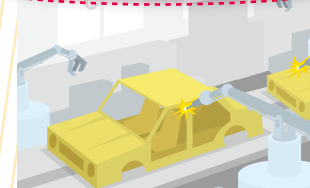


創るだけで約**3/5**が消失!

使用段階でもロス。最終的に全体の約**2/3**が消失!



家庭で

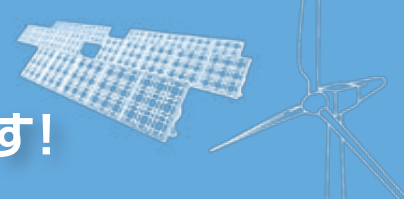


工場で



オフィスで

出典:IEA(International Energy Agency)/OECDの資料を参考にTDKで作成。



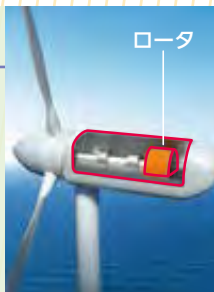
私たちの貴重な資源であるエネルギーを大切にし、地球環境を守るために、TDKはこれまでも、そしてこれからも貢献していきます！

TDKの省ロスーション

創る

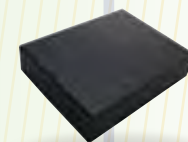
風力発電機用ネオジウムマグネット

省エネに大きく貢献するのがモータや発電機のマグネットです。ネオジウムマグネットは風力発電システムの発電機で、固定されたコイル群の周りを回転して発電する多極マグネットロータ(マグネットを多数貼り付けた回転子)に使用されています。最近では、比較的弱い風でのゆっくりとした回転でも発電できる、発電効率の向上と低騒音化に貢献するダイレクトドライブ(風車と発電機が直結)方式の風力発電機が注目されるようになってきました。このマグネットロータには、素材技術とプロセス(加工)技術を活かした、TDKの高性能ネオジウムマグネットが使われています。



ロータ

TDKの製品が活躍



風力発電機用ネオジウムマグネット

薄型・軽量ながら高特性のTDKのネオジウムマグネットが発電効率をアップ！

送る

HVDC(高電圧直流送電)用パワーコンデンサ

一般に、発電所などで発電された電気は、電線の電気抵抗によるエネルギー損失を少なくするために高い電圧で送電されていますが、6%以上の送電ロスが発生しています。そこで、風力発電などの長距離送電における損失を抑えるために、世界的に送電ロスが少ないHVDCシステムを採用する傾向が強まっています。TDKのパワーコンデンサは、HVDCシステムの送電用モジュールに搭載されており、電圧の変動を小さくする役割をになうフィルムコンデンサです。要求される性能・品質レベルが極めて高いことから、生産できるメーカーは世界でも限られています。



パワーコンデンサ

HVDCの電圧変動を抑制するTDKのパワーコンデンサで送電ロスを削減！

変換する

産業・インフラ機器のインバータ向けフェライトPE90材

エレベータやコンベア、ポンプ、空調ファンなどに多用されている産業用のモータは、インバータ(電源回路)で電力会社から供給される交流の電気の周波数を変え、回転速度をコントロールすることで、大幅な省電力運転が実現できます。TDKのフェライトPE90材は、大電力用に開発したエネルギーの伝達や変換時の損失(コアロス)を抑えたフェライト材です。インバータで電圧を上げる回路部分や平滑(微小な電圧変動を滑らかにする)用のリアクトル(チョークコイル)のコア材などに使用され、インバータの電力変換効率の向上に大きく貢献します。



リアクトル用フェライトPE90材

TDKのフェライトPE90材は、従来材と比べて、コアロスを20%以上も改善！

使う・蓄える

鉄道・交通システム向けDC-DCパワーモジュール

鉄道・交通システムでは、駅構内にある電気制御機器や表示機器などの地上設備はもとより、ブレーキシステム、空調システム、ドア開閉システムなどの車両設備にも、電力供給用の電源が多用されています。これらの電源は車両にも取り付けられるため、すぐれた耐振動性・耐衝撃性が要求されます。TDKのDC-DC/パワーモジュールCN-Aシリーズは、最新の回路技術を活かし、鉄道・交通関連機器に最適な仕様を世界標準規格で実現した、小型・高効率・高信頼性の電源です。



DC-DCパワーモジュール

TDKのDC-DCパワーモジュールはすぐれた耐振動性・耐衝撃性と高効率を実現！

株主メモ

● 株式に関するお問合せ先

証券会社等にて株式をお持ちの場合

○ 配当金の受取方法の指定、変更	お取引のある証券会社等
○ 単元未満株式の買取・買増請求	
○ 住所変更、名義変更等	
未払配当金の照会、支払い	下記の株主名簿管理人

特別口座にて株式をお持ちの場合

各種手続き等	下記の特別口座管理機関
--------	-------------

* 特別口座の方は、証券会社等に一般口座を開設し、株式を振替えることをお勧めします。
(特別口座とは、2008年12月末までにほふり(証券保管振替機構)に株券をお預けにならなかった株主様の株式を、当社がお預かりし一旦管理させていただいている口座のことです)

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先及び電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店

〈お知らせコーナー〉

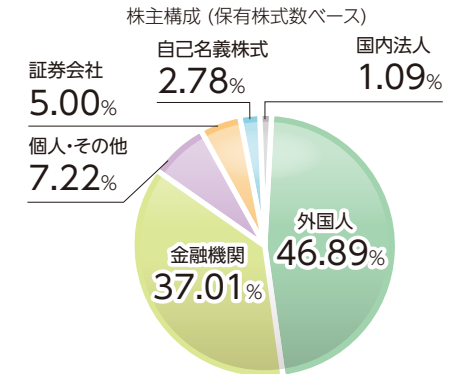
- **配当金の受取方法について:**
配当金はお受取り忘れのない、安心、確実、スピーディーな、口座振込でのお受取りをお勧めします!
- **単元未満株式の買取・買増請求について:**
単元未満株式の買取・買増請求に係る当社に対する手数料を2012年4月1日から無料とさせていただきますので、是非ご利用ください!
(但し、特別口座の株主様を除き、証券会社等に対する手数料が別途必要となる場合がありますので、ご留意ください)
- **今回お送りした「配当金計算書」について:**
毎年の確定申告を行う際、添付書類としてご使用いただくことができますので、大切に保管ください!

● 株式の状況

基本情報 (2015年3月31日現在)

上場証券取引所	東京(証券コード:6762)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	期末:毎年3月31日、中間:毎年9月30日
株主総会基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときはあらかじめ公告いたします)
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告(当社のホームページ http://www.tdk.co.jp/ に掲載いたします)
1単元の株式数	100株

株主の状況 (2015年3月31日現在) 株主数 21,771名



● 役員状況

取締役、監査役及び執行役員 (2015年6月26日現在)

取締役 (*印は社外取締役)	執行役員	執行役員
代表取締役 上釜 健宏	社長 上釜 健宏	執行役員 桃塚 高和
取締役 小林 敦夫	専務執行役員 小林 敦夫	執行役員 永田 充
取締役 植村 博之	専務執行役員 植村 博之	執行役員 Joachim Thiele (ヨアヒム・ティール)
取締役 齋藤 昇 (新任)	常務執行役員 逢坂 清治	執行役員 今本 敬一
取締役 澄田 誠*	常務執行役員 吉原 信也	執行役員 末木 悟
取締役 吉田 和正*	常務執行役員 齋藤 昇	執行役員 Christian Block (クリスティアン・ブロック)
取締役 石村 和彦* (新任)	常務執行役員 Robin Zeng (ロビン・ツェン)	執行役員 Norbert Hess (新任) (ノルベルト・ヘス)
監査役 (**印は社外監査役)	常務執行役員 Joachim Zichlarz (ヨアヒム・ツィヒラルツ)	執行役員 Michael Pocsatko (新任) (マイケル・ポチャッコ)
常勤監査役 四居 治	常務執行役員 石黒 成直	執行役員 Hong Tian (新任) (ホン・ティエン)
常勤監査役 米山 淳二 (新任)		執行役員 山西 哲司 (新任)
監査役 八木 和則**		
監査役 石黒 徹** (新任)		
監査役 藤村 潔** (新任)		

今年の8月に北京にて開催される、「世界陸上選手権大会」に、TDKは協賛いたします!



世界の3大スポーツイベントである「世界陸上選手権大会」。トップクラスのアスリートたちが限界に挑む姿に、エレクトロニクスの最先端で挑戦を続けるTDKは共感し、1983年の第1回ヘルシンキ大会から男子ゼッケンのスポンサーとして協賛しています。
今年、第15回北京大会が8月22日(土)から30日(日)まで、北京国家体育場を舞台に開催され、その感動のドラマを応援します。今回もゼッケンや100mスタートラインの広告ボードに、TDKロゴが掲出され、TDKの社名を世界中にアピール。真夏の熱い戦いにご注目ください。

いつも本誌、株主通信「TDK TODAY」をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。今回は特集に産業機器・エネルギーを取り上げてみました。あまり馴染みのない分野かもしれませんが、いかがでしたでしょうか。今後も株主の皆様にも、楽しみにしていただける様な誌面作りに努めてまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。七夕を迎える季節となりました。末筆ながら、皆様のご健勝をお祈りしております。



TDK株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目9番1号
<http://www.tdk.co.jp/>



この冊子は植物油インクを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。